

令和 8 年度

第 5 回通常総会議案書

日時 令和 8 年 4 月 27 日

一般社団法人とおがったプロジェクト

〒989-0915

宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉寿町 1-3

TEL : 090-8615-9054 (代表)

一般社団法人とおがったプロジェクト
総会提出議案

- 第1号議案 令和7年度事業報告書並びに収支決算書、活動計算書、貸借対照表、及び財産目録承認の件
- 第2号議案 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件
- 第3号議案 令和8年度短期借入に関する承認の件

上記議案を別紙のとおり提出いたします

令和8年4月
一般社団法人とおがったプロジェクト
代表理事 永井京花

令和7年度 事業報告書

自 令和7年4月01日

至 令和8年3月31日

I. 総括的概要

アーティスト・イン・レジデンス事業は本年度で5年目を迎え、これまでの継続的な取り組みを通じて、地域内における認知と理解が着実に深まってまいりました。特に、こども食堂や国際交流協会との連携により、アーティストの滞在が単なる制作活動に留まらず、日常的なコミュニティの中へと入り込み、子どもから大人までが自然にアートと接点を持つ環境が形成されつつあります。これにより、アートが「鑑賞するもの」から「共に時間を過ごすもの」へと質的な変化を見せ始めております。

また、地域資源との接続においても進展が見られ、蔵王町においては「ちゃせんこ」や「春駒」といった伝承芸能・風習の調査およびアーカイブ化に取り組むとともに、その背景にある暮らしや信仰、地域コミュニティの構造にまで踏み込んだ理解が進みました。さらに、白石市においては白石紙布のアーカイブ事業に着手し、素材・技術・歴史といった多層的な価値の整理を行うことで、地域文化の再解釈と現代的表現への展開可能性を見出しております。これらの取り組みは、地域の文化を「保存する」だけでなく、「再編集し、次代へ接続する」ための基盤形成として位置付けられます。

加えて、地域外での展開として2年目を迎えた「ハマカルアート2025」においては、福島県沿岸部との関係性を継続的に構築し、震災以降の時間の蓄積や個々人の記憶と向き合う実践を重ねてまいりました。その成果として、事業開始以来初となるせんだいメディアテークでの大規模展示を実現し、地域内外の来場者に対して活動の意義とプロセスを広く発信する機会を得ることができました。これは、当団体の活動がローカルな実践に留まらず、広域的な文脈の中で評価され始めていることを示す重要な成果であると考えております。

以上のように、昨年度は「地域」「アート」「教育」という三つの領域が相互に関連しながら発展し、それぞれが単独ではなく、重なり合うことで新たな価値を生み出す段階へと移行した一年となりました。今後は、この関係性をさらに深化させるとともに、継続的な仕組みとして定着させていくことが求められます。

II. 事業別状況

1. 組織

(1) 会員

- | | |
|----------|----|
| ①年度当初会員数 | 3名 |
| ②新規加入者数 | 0名 |
| ③脱退者数 | 0名 |
| ④年度末会員数 | 3名 |

(2) 役員等

役員の現況（令和8年3月31日現在）

役職名	氏名	事業所名	住所	TEL
代表理事	永井京花	Long Nagai	■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
監事	山崎友一	株式会社 YAMANONE	■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■

2. 会議

年月日	会議名	場所	出席者数	議案
R8. 04. 24	監査会	オンライン	3名	令和7年度業務及び会計監査

Ⅲ. 具体的事業

1. 国内外のアーティストを招へいする事業（アーティストインレジデンス）

年月日	場所	事業内容	アーティスト等
R7. 04. 15 ～5. 15	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在 成果発表 (5. 16-5. 26)	Elisa Bochicchio(イタリア) / イラストレータ Bus Room にて成果発表
R7. 04. 24 ～5. 01	遠刈田レジデンス 2	AIR 滞在	Catherine & Sarah Phillips(カナダ) / 現代アート
R7. 05. 01 ～5. 31	遠刈田レジデンス 2	AIR 滞在 成果発表 (5. 28-5. 31)	Christine Hvidt Grønborg(デンマーク) Cyrill Rafael Vasilyev(ロシア) / 現代アート Bus Room にて成果発表
R7. 05. 15 ～6. 30	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在 成果発表 (6. 22-6. 25)	古橋紀子 / 現代アート Bus Room にて成果発表
R7. 06. 01 ～6. 30	遠刈田レジデンス 2	AIR 滞在 成果発表 (6. 29-7. 13)	Eden Nael Liedtke(ドイツ) Sam Evans(ドイツ) / 現代アート Bus Room にて成果発表
R7. 06. 25 ～7. 10 / 10. 05 ～11. 10	白石レジデンス shiro	AIR 滞在 成果発表(11. 9)	金森マユ Martin Edmond(ニュージーランド) / パフォーマー 壽丸屋敷にて成果発表
R7. 07. 01 ～7. 27	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在 成果発表(7. 19-31)	Ben Allanof(アメリカ) / 現代アート みどり公園にて成果発表
R7. 07. 11 ～7. 20	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在 成果発表 (7. 17-7. 19)	Rigmor Fischer(デンマーク) / ドローイング Bus Room にて成果発表
R7. 07. 28 ～8. 03	白石レジデンス shiro	AIR 滞在	obake(日本) / リサーチ 製本「白石に生きる和紙と人」
R7. 08. 10 ～9. 30	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在	Megan Lucille(アメリカ) / 現代アート
R7. 08. 19 ～9. 19	遠刈田レジデンス 2	AIR 滞在 成果発表 (9. 16-10. 10)	Mitch Yan(オランダ) / テキスタイルアート Bus Room にて成果発表
R7. 09. 03 ～9. 30	白石レジデンス shiro	AIR 滞在	風間桜 / 日本画

R7. 09. 19 ～9. 28	白石レジデンス shiro	AIR 滞在	Elisa(チリ) / ドローイング
R7. 09. 21 ～10. 02	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在 成果発表 (10. 1-10. 9)	Urjasvi S Gandhi(インド) / イラストレータ Bus Room にて成果発表
R7. 09. 21 ～10. 20	遠刈田レジデンス 2	AIR 滞在 成果発表 (10. 10-10. 31)	Yash Pradhan(インド) / イラストレータ Bus Room にて成果発表
R7. 10. 01 ～10. 22	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在	Fariba Ferdosi(イラン) / パフォーマー
R7. 10. 10 ～10. 31	遠刈田レジデンス 2	AIR 滞在	Una Wiener(オーストリア) / 作家
R7. 10. 26 ～11. 25	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在	Alessandro Ambrosi(イタリア) / 音楽
R7. 11. 11 ～12. 14	白石レジデンス shiro	AIR 滞在 成果発表 (12. 07-12. 13)	岡内桃子 / 陶芸 白石レジデンス shiro にて成果発表
R7. 12. 01 ～12. 20	遠刈田レジデンス 2	AIR 滞在 成果発表 (12. 15-12. 31)	Zi Yan Chen(中国) / 現代アート Bus Room にて成果発表
R7. 12. 01 ～12. 31	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在 成果発表 (12. 15-12. 31)	青木海人 / 現代アート Bus Room にて成果発表
R7. 12. 01 ～12. 28	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在 成果発表(12. 26)	Gabi Schaffner(ドイツ) / 構成作家 遠刈田レジデンスマルヨシにて成果発表
R7. 12. 17 ～ R8. 01. 17	白石レジデンス shiro	AIR 滞在 イベント(12. 26) 成果発表 (1. 9, 15, 16)	藤田恵理子 / 版画 つりがね庵にてトークイベント(12. 26) 白石レジデンス shiro にて成果発表
R7. 12. 17 ～ R8. 01. 10	白石レジデンス shiro	AIR 滞在 イベント(12. 26) 成果発表 (1. 9)	Amanda Smith(アメリカ) / コラージュ つりがね庵にてトークイベント(12. 26) 白石レジデンス shiro にて成果発表
R8. 01. 05 ～02. 11	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在	桑原真理子 / 作家
R8. 02. 20 ～03. 09	白石レジデンス shiro	AIR 滞在	吉田莉乃 / ドローイング
R8. 03. 11 ～03. 31	遠刈田レジデンスマルヨシ	AIR 滞在	サンガー莉里 / 版画

2. アーティストと共に知識・技術等を学ぶ機会を企画する事業

年月日	場所	事業内容	アーティスト等
R7. 08. 01 ～3. 31	福島県沿岸部 (リサーチ) メディアテーク (発表) Q 1 (発表) うちの居間分館 (発表) 復興交流館あぜりあ (発表)	ハマカルアート 2025	フクダマコト / フォトグラファー シノユウキ / ペインター 幹-miki- / 音楽 入り口は感覚 / 現代アート

3. 得た知識を地域と共有、または事業者へ斡旋する事業

年月日	場所	事業内容	アーティスト等
R7. 11. 09	寿丸屋敷	パフォーマンス アーティストトーク	金森マユ / パフォーマー 白石に住む外国人のストーリーテリング、 及びパフォーマンスの実施。 実施後、出演者と共にトークイベントを実施
R7. 12. 26	つりがね庵	アーティストトーク	藤田恵理子 / 版画 Amanda Smith(アメリカ) / コラージュ 前回実施の「Works on Shiroishi Washi」に まつわるアーティストトークの実施

4. ワークショップイベントの開催及び付帯する事業

年月日	場所	事業内容	アーティスト等
R7. 12. 7	白石レジデンス shiro	ワークショップ	岡内桃子 / 陶芸 施設で作陶ワークショップの実施

5. 生涯学習としてのアート・文化芸術の学び、体験学習を開催する事業

年月日	場所	事業内容	アーティスト等
R7. 06. 21	蔵王町内全域	蔵王町穴場ツアー	Eden Nael Liedtke(ドイツ) Sam Evans(ドイツ) / 現代アート 生涯学習課企画の「穴場ツアー」への参加
R7. 06. 22	遠刈田地区公民館	お絵描き遊び	Eden Nael Liedtke(ドイツ) Sam Evans(ドイツ) / 現代アート こども食堂で来場者と共に遊ぶ
R7. 07. 19	蔵王町内全域	蔵王町穴場ツアー	Ben Allanof(アメリカ) / 現代アート 生涯学習課企画の「穴場ツアー」への参加
R7. 08. 27	遠刈田小学校	お絵描きワーク	Mitch Yan(オランダ) / テキスタイルアート 行間休み、昼休みを利用したお絵描きワークを実施
R7. 09. 27	遠刈田地区公民館	お絵描き遊び	Elisa(チリ) / ドローイング Yash Pradhan(インド) / イラストレータ こども食堂で来場者と共に遊ぶ
R7. 10. 05	遠刈田地区公民館	ワールドカフェ	Yash Pradhan(インド) / イラストレータ Fariba Ferdosi(イラン) / パフォーマー 蔵王町国際交流協会企画の ワールドカフェへの参加
R7. 10. 06	遠刈田小学校	お絵描きワーク	Yash Pradhan(インド) / イラストレータ 行間休み、昼休みを利用したお絵描きワークを実施

R7. 10. 21	遠刈田小学校	ペルシャ語習字 ワーク	Fariba Ferdosi(イラン) / パフォーマー 自分の名前をペルシャ文字にするワーク 習字お絵描きの様なワークを行間休みで実施
R7. 11. 12	遠刈田小学校 (5学年対象)	音楽ワーク	Alessandro Ambrosi(イタリア) / 音楽 アイネクライネナハトムジークの合奏と、 生演奏によるアルゼンチンタンゴの鑑賞
R7. 11. 22	沢内公民館	音楽遊び	Alessandro Ambrosi(イタリア) / 音楽 こども食堂で来場者と音楽で遊ぶ
R8. 01. 31	遠刈田地区公民館	身体を使った遊び	桑原真理子 / 作家 こども食堂で来場者と共に遊ぶ
R8. 03. 20	遠刈田地区公民館	お絵描き遊び	サンガー莉里 / 版画 こども食堂で来場者と共に遊ぶ

6. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

年月日	場所	事業内容	アーティスト等
R8. 02. 10	—	「遠刈田のちゃせんこ」 映像・冊子発行	遠刈田地区の民俗伝承行事「ちゃせんこ」 の映像と冊子を制作
R8. 02. 13	—	「ハマカルアート 2025 活動記録集」冊子発行	福島沿岸部での一連のアーティスト・イン・レジ デンス事業をまとめた冊子の発行
R8. 03. 11	—	「小村崎伝承芸能アー カイブ」の発行	小村崎地区の伝承芸能である「春駒」、「田植踊り」 の譜面を始めとする記録をまとめたアーカイブ 本の発行
R8. 03. 31	—	「白石に生きる和紙と 人」の発行	白石和紙、紙布等の文化の入り口として、関わる 人々の手仕事をまとめた冊子の発行

令和7年度 収支決算

自 令和7年4月01日

至 令和8年3月31日

(一社)とおがったプロジェクト

収入の部 (単位:円)					
科目		予算額	決算額	増減	備考
大分類	小分類				
繰入金収入	受取助成金等	10,050,000	7,959,365	▲ 2,090,635	
会費等収入	会費	30,000	30,000	0	
	寄付金	0	0	0	
	雑収入	1,000,000	3,500,484	2,500,484	こけし館業務、及びアーカイブ事業による収入
前期繰越 収支差額	前期繰越 収支差額	1,543,711	1,543,711	0	
合計		12,623,711	13,033,560	409,849	
支出の部 (単位:円)					
科目		予算額	決算額	増減	備考
大分類	小分類				
事業費	1.AIR事業	5,500,000	1,673,047	▲ 3,826,953	
	2.知識・技術等を 学ぶ事業	0	7,061,510	7,061,510	ハマカル分を振り分け
	3.得た知識を地域と 共有、斡旋事業	0	0	0	
	4.イベントの開催、 付帯事業	1,300,000	0	▲ 1,300,000	
	5.生涯学習事業	2,000,000	508,500	▲ 1,491,500	
	6.その他事業	1,000,000	0	▲ 1,000,000	
管理費	通信運搬費	30,000	1,400	▲ 28,600	
	消耗品費	200,000	0	▲ 200,000	
	修繕費	300,000	46,750	▲ 253,250	
	水道光熱費	350,000	226,205	▲ 123,795	
	地代家賃	180,000	152,688	▲ 27,312	
	支払手数料	0	95,127	95,127	支払利息を計上
	支払寄付金	200,000	0	▲ 200,000	
	広告宣伝費	50,000	0	▲ 50,000	
	雑費	200,000	288,600	88,600	給与支払い、租税公課を計上
予備費	予備費	1,313,711	0	▲ 1,313,711	
次期繰越 収支差額	次期繰越 収支差額	0	2,979,733	2,979,733	
合計		12,623,711	13,033,560	409,849	

活動計算書

2025年4月1日 から 2026年3月31日 まで

(単位：円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取助成金等			
受取民間助成金	1,164,462		
受取国庫補助金	6,794,903	7,959,365	
2. 事業収益			
雑収益		3,530,484	
経常収益計			11,489,849
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	2,027,850		
人件費計	2,027,850		
(2)その他経費			
業務委託費	3,918,612		
会議費	754,530		
旅費交通費	951,133		
消耗品費	98,175		
諸会費	2,300		
広告宣伝費	1,454,233		
雑費	36,224		
その他経費計	7,215,207		
事業費計		9,243,057	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	288,000		
人件費計	288,000		
(2)その他経費			
旅費交通費	1,400		
修繕費	46,750		
水道光熱費	226,205		
地代家賃	152,688		
租税公課	600		
支払利息	95,127		
その他経費計	522,770		
管理費計		810,770	
経常費用計			10,053,827
当期経常増減額			1,436,022
税引前当期正味財産増減額			1,436,022
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			1,436,022
前期繰越正味財産額			1,543,711
次期繰越正味財産額			2,979,733

法人名：一般社団法人とおがったプロジェクト

貸借対照表

2026年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,979,733		
流動資産合計		2,979,733	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,979,733
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,543,711	
当期正味財産増減額		1,436,022	
正味財産合計			2,979,733
負債及び正味財産合計			2,979,733

損益計算書

2025年4月1日 から 2026年3月31日 まで

(単位：円)

科目	金額		
収益事業以外の事業への寄附金			0
法人税、住民税及び事業税			0
当期純利益			0

法人名：一般社団法人とおがったプロジェクト

財産目録

2026年3月31日 現在

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金・預金	2,979,733		
流動資産合計		2,979,733	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,979,733
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			2,979,733

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	AIR事業	企画事業	生涯学習事業	事業部門合計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等	0	0	0	0	7,959,365	7,959,365
4. 事業収益	0	0	3,310,000	3,310,000	220,484	3,530,484
5. その他収益	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	0	3,310,000	3,310,000	8,179,849	11,489,849
II 経常費用						
(1)人件費						
給料手当	0	2,027,850	0	2,027,850	288,000	2,315,850
人件費計	0	2,027,850	0	2,027,850	288,000	2,315,850
(2)その他経費						
支払利息	0	0	0	0	95,127	95,127
業務委託費	506,550	2,903,562	508,500	3,918,612	0	3,918,612
会議費	0	754,530	0	754,530	0	754,530
旅費交通費	519,226	431,907	0	951,133	1,400	952,533
消耗品費	98,175	0	0	98,175	0	98,175
修繕費	0	0	0	0	46,750	46,750
水道光熱費	0	0	0	0	226,205	226,205
地代家賃	0	0	0	0	152,688	152,688
諸会費	0	2,300	0	2,300	0	2,300
租税公課	0	0	0	0	600	600
広告宣伝費	535,502	918,731	0	1,454,233	0	1,454,233
雑費	13,594	22,630	0	36,224	0	36,224
その他経費計	1,673,047	5,033,660	508,500	7,215,207	522,770	7,737,977
経常費用計	1,673,047	7,061,510	508,500	9,243,057	810,770	10,053,827
当期経常増減額	-1,673,047	-7,061,510	2,801,500	-5,933,057	7,369,079	1,436,022

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
【民間助成金】 サントリー東北サ ンさんプロジェク ト シン・みらいチャ レンジプログラム	0	1,000,000	1,000,000	0	返還済
【民間助成金】 宮城県国際化協会	0	200,000	200,000	0	
【民間助成金】 日本財団 (能登・山形被災 地支援)	35,538	0	35,538	0	
【民間助成金】 YS市庭コミュニテ ィー財団	300,000	0	300,000	0	
【国庫補助金】 蔵王町・まちづく り交付金	0	250,000	250,000	0	
【国庫補助金】 経済産業省・地域 経済政策推進事業 費補助金(映像芸 術文化支援事業)	0	5,571,903	5,571,903	0	
【国庫補助金】 宮城県芸術銀河・ 地域文化サポート 事業補助金	0	973,000	973,000	0	
合計	335,538	7,994,903	8,330,441	0	

4. 借入金の増減内訳

借入金の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金 (相双五城信用組合)	0	5,500,000	5,500,000	0

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
	0	0	0

監査報告書

令和 8 年 4 月 24 日、令和 7 年度一般社団法人とおがったプロジェクト
の事業報告並びに計算書類について監査をしたところ、定款及び諸規程のお
り業務の執行は適切であり、関係帳簿及び証拠書類ともに整備されており金銭
の出納処理は適正であることを認め、ここに報告いたします。

令和 8 年 4 月 24 日

監 事

山崎 友一



令和8年度 事業計画（案）

自 令和8年4月01日

至 令和9年3月31日

I. 基本方針

前年度において、アーティスト・イン・レジデンス事業は5年目を迎え、地域との接続、文化資源との連携、教育分野への展開において一定の成果を得ることができました。これを踏まえ、令和8年度は、これまでに構築してきた関係性を一過性の取り組みに留めず、「持続可能な地域の仕組み」として定着させることを主眼に事業を推進してまいります。

地域コミュニティとの接続については、こども食堂を核とした「地域の小さなプラットフォーム」としての機能を整理し、アーティストの関与による学びと交流の機会を継続的なプログラムとして再編します。年齢や発達段階に応じた設計を行うことで教育的価値の可視化を図るとともに、蔵王国際交流協会との連携を深化させ、地域における国際交流の基盤強化に取り組みます。

地域文化資源との連携では、「ちゃせんこ」や「春駒」、白石紙布等の調査・記録を継続しつつ、アーティストの視点による再解釈を通じて新たな表現へと接続します。アーカイブ活動を展示や冊子、ワークショップ等へ展開することで、「保存」と「活用」を両立する仕組みの構築を目指します。

また、地域外との連携としては、「ハマカルアート」を軸に福島県沿岸部との協働を継続し、昨年度実施したせんだいメディアテークでの展示を契機として、プロセスを重視した実践を深化させ、広域的な文化ネットワークの形成を図ります。

加えて、本年度は文化的実践を経済活動へ接続する展開として、経済産業省の「小規模事業者持続化補助金〈共同型〉」を活用し、地域クラフト事業者との連携による発信事業を推進します。アーティスト・イン・レジデンスで培った体験設計の知見を活かし、展示・販売を一体化させた取り組みにより、地域ブランドの形成と来訪動機の創出を目指します。

さらに、活動全体を通じて「プロセスの可視化」と「評価の言語化」に取り組み、事業の社会的意義を明確化するとともに、今後の行政連携や制度設計への接続を見据えた基盤整備を進めてまいります。

以上の取り組みにより、令和8年度は、地域・文化・教育・経済が相互に関連する持続可能なモデルの確立を目指します。

こうした位置付けの下、次の事業を展開し実施します。

II. 具体的事業

1. 国内外のアーティストを招へいする事業（アーティスト・イン・レジデンス）

地域における文化実践の基盤として、アーティストの滞在制作および地域との関係構築を継続的に実施する。あわせて、他地域の AIR 拠点との連携を通じ、広域的なネットワークの形成と相互交流を推進する。

- ・レジデンス事業の継続
- ・他の AIR 施設との連携事業

2. アーティストと共に学ぶ機会を創出する事業

アーティストの知識・技術・視点を活かし、地域住民が主体的に参加できる学びの機会を体系的に設計する。単発的な体験に留まらず、継続的なプログラムとしてのワークショップを実施することで、教育的価値の蓄積と可視化を図る。

- ・アーティストによるワークショップ事業の継続

3. 地域文化資源の記録・活用および連携基盤の構築事業

地域の伝統文化や生活文化の調査・記録を進めるとともに、アーティストの関与による再解釈を通じて、新たな価値創出へと接続する。また、文化と観光、産業を横断的に結びつける連携基盤の構築を図る。

- ・「地域の文化・伝統芸能」のアーカイブ事業
- ・観光と文化を横断的に繋ぐコンソーシアムの仕組み構築

4. 発信および地域間交流を促進する事業

ワークショップや展示、シンポジウム等の開催を通じて、活動成果およびプロセスの発信を行うとともに、他地域との対話と交流を促進する。

- ・他地域におけるシンポジウムの開催

5. 生涯学習および教育連携事業

アートを軸とした体験的な学びの機会を提供し、地域の教育資源としての機能強化を図る。学校教育との連携に加え、地域コミュニティとの接続を通じた総合的な学習環境を構築する。

- ・レジデンスアーティストと地域小中学校・高等学校との授業プログラムの継続
- ・地域資源を活用したアートプロジェクトの継続
- ・こども食堂および蔵王国際交流協会との連携による総合学習事業の強化

6. 文化的実践の事業化および経済循環の創出

これまでのアーカイブやワークショップ等の成果を基盤とし、文化的価値を経営活動へと接続する取り組みを推進する。特に、経済産業省の「小規模事業者持続化補助金〈共同型〉」を活用し、地域クラフト事業者との連携による商品開発・発信事業を展開することで、地域ブランドの形成と外部市場への展開を図る。

- ・アーカイブ事業、ワークショップ事業のビジネス化
- ・クラフト事業者との連携による発信事業（補助金事業の推進）

Ⅲ．月別予定

年月日	実施内容	予定場所	詳細
R8. 04 月 ～R9. 03 月	・AIR 事業	遠刈田レジデンス 白石レジデンス shiro	AIR 事業の継続
R8. 05 月～	・伝統産業のブランディング 事業	フランス	「蔵王山麓のてしごと」の海外への発信と 環蔵王へのファン獲得の為の事業
R8. 04 月～	・子ども食堂とのコラボレ ーションによる事業	遠刈田地区公民館他	こども食堂との共同事業（継続）
R8. 04 月～	・国際交流協会とのコラボレ ーションによる事業開始	遠刈田地区公民館他	国際交流協会との共同事業の開始
R8. 08 月 ～12 月	・ハマカルアート 2026 事業	福島県沿岸部	福島県沿岸部の継続リサーチの実施 （3 年目である本年度で最終とする）
R8. 06 月 ～R8. 03 月	・白石和紙のリサーチと アーカイブ	白石市	白石和紙のリサーチとアーカイブ（継続）
R8. 03 月	・次年度事業まとめ	ー	次年度に向けてのフィードバック システム整備

令和8年度 収支予算（案）

自 令和8年4月01日

至 令和9年3月31日

（一社）とおがったプロジェクト

収入の部（単位：円）					
科目		(前年度 実績額)	予算額	増減	備考
大分類	小分類				
繰入金収入	受取助成金等	7,959,365	31,000,000	23,040,635	サントリー：1,000,000 ハマカルアート：5,000,000 小規模＜共同型＞：25,000,000
会費等収入	会費	30,000	30,000	0	
	寄付金	0	0	0	
	雑収入	3,500,484	1,000,000	▲ 2,500,484	役場委託事業等
前期繰越 収支差額	前期繰越 収支差額	1,543,711	2,979,733	1,436,022	期初残高
合計		13,033,560	35,009,733	21,976,173	
支出の部（単位：円）					
科目		(前年度 実績額)	予算額	増減	備考
大分類	小分類				
事業費	1.AIR事業	1,673,047	1,500,000	▲ 173,047	
	2.知識・技術等を 学ぶ事業	7,061,510	5,000,000	▲ 2,061,510	ハマカルアートの実施
	3.得た知識を地域と 共有、斡旋事業	0	300,000	300,000	
	4.イベントの開催、 付帯事業	0	25,000,000	25,000,000	小規模＜共同型＞の実施
	5.生涯学習事業	508,500	500,000	▲ 8,500	
	6.その他事業	0	300,000	300,000	継続支援分の予算確保
管理費	通信運搬費	1,400	10,000	8,600	
	消耗品費	0	50,000	50,000	
	修繕費	46,750	100,000	53,250	
	水道光熱費	226,205	250,000	23,795	
	地代家賃	152,688	180,000	27,312	
	支払手数料	95,127	625,000	529,873	手形利息分の計上（年利2.5%）
	支払寄付金	0	0	0	
	広告宣伝費	0	0	0	
	雑費	288,600	200,000	▲ 88,600	
予備費	予備費	0	994,733	994,733	
次期繰越 収支差額	次期繰越 収支差額	2,979,733	0	▲ 2,979,733	
合計		13,033,560	35,009,733	21,976,173	

令和８年度 借入金最高限度額及び借入先

令和８年度の本会運営のために必要な借入金最高限度額及び借入先については、次のとおりとする。

１．借入金最高限度額 ３０，０００，０００円

２．借入先

（１）相双五城信用組合 蔵王支店（大河原支店）

（２）仙南信用金庫 蔵王支店

（３）七十七銀行 蔵王支店

３．付帯条件

借入額は、当該年度採択済の補助金・助成金の総額を超えてはならない。